

阿刀田高さんと楽しむ 【短編小説と知的創造】



講師 作家 阿刀田 高 Takashi Atohda

ホモサピエンスの思案は広大。その広さを短編小説を介して訪ね、創造の英知としよう。

短編小説は短い。自明のことだがこれが大切だ。短いがゆえに数多く味わえる。多様であり、多彩であり、さまざまなものを私たちの前にくり広げてくれる。飛躍的なアイデアに触れることもできる。いろんな考え、好み、ストーリーに出会い、豊かな想像力を養うことができる。短編小説の技法からはダイジェストする力や短い言葉で表現する力が鍛えられる。日常的

な創造は、いろいろなところに伏在しており、ちょっとした閃きが生活を活性化させることだと気づく。とりあげた短編小説それぞれの作家や作品について私なりの説明をしながら、皆さんとじっくり読み、短編小説とその世界を楽しんでいきたい。

阿刀田 高

11/15 ±

第1回

14:00～17:00

向田 邦子の
『春が来た』を読む

小説におけるモチーフとは何か

モチーフという言葉で、心に留めておいていただきたい。我流の用語ではあるが、作品を通して何を語りたいか、その核心となるもの、である。『春が来た』は、大げさなモチーフを持つものではないが、日常生活を描きながら“まれ人”を感じさせてくれるところがおもしろい。

11/29 ±

第2回

14:00～17:00

夏目 漱石『夢十夜』
芥川 龍之介『藪の中』
を読む

短編小説の技の不思議さ

『夢十夜』は、漱石の作品の中で際だってユニークな名品だ。10話それぞれのモチーフが、読み手に万華鏡のようにさまざまなイメージを描かせるところが、すごい。『藪の中』は技法としても鮮やかだが、私たちの真実とは内か、問いかけるものが鋭い。私小説とは違う、イマジネーションのすばらしさを賞味したいと思う。

12/20 ±

第3回

14:00～17:00

太宰 治の
『きりぎりす』を読む

小説家は誠実か

作家は、人間として真実を語る誠実な人柄と信じられているところがある。本当かどうか私は答えにくい立場だが、この作品は誠実である。書いた太宰はどうなのか。作品と作家の関係を考えるうえで、おもしろい。書簡体の小説としても、優れたものだ。ところどころにより表現があって、これぞ奇才の技だろう。

1/10 ±

第4回

14:00～17:00

三島 由起夫の
『憂国』を読む

作家の美意識を見つめるべきか

三島由紀夫の劇的な最期と重ね合わせて読むのは、この作品の正しい読み方ではあるまい。全体を貫く凛々しさ、問然とするところのない文章力、「芸術とは、文学とはこういうものだ」と叫んでいるような気配がある。実人生を描いているように見えながら、創られたフィクション。それでこそ見出せる美とエロス、そのサンプルではあるまいか。

1/24 ±

第5回

14:00～17:00

大江 健三郎の
『飼育』を読む

初期の代表作はその作家を予見する

もしかしたらこれは大人のおとぎ話なのかもしれない。この作品にとって山深い四国の集落は人間の魂をゆさぶるイマジネーションの世界であった。きわめて現実的に見えるこの作品世界をイマジネーションの実験として読むことができるだろう。そこから浮かびあがる人間の本質、厳しかったり、のどかであったり、奇才の名作と呼ぶにふさわしい。

2/7 ±

第6回

14:00～17:00

武田 泰淳の
『ひかりごけ』を読む

こんな小説作法もあるのか

旅先で見聞するちょっと不思議な話、それが小説の始まりとなるケースは多い。日常の体験からどう凡庸ではない作品を創りだすか、それを考えるのに役立つだろう。後半に戯曲を用いるところもユニークな発想であり、モチーフを探るのにもよい。まさに小説の技を感じさせてくれる名作である。人間の原罪を問うているのだろうか。

2/21 ±

第7回

14:00～17:00

阿刀田 高の
『サンジェルマン伯爵考』
を読む

小説は何のためにあるのか

人類はずいぶん古いころから広い意味での小説を享受してきた。それはなぜなのか。いったい何の役に立つのか。わたし自身の作品と、伊藤整の『芸術は何のためにあるのか』を読み、広く鳥瞰してこの文化の本質を探してみたい。

阿刀田さんと楽しむ短編小説の世界

作家として900編を超える短編小説を書き、ずっとアイデアを求め、人生を、人間を、恐怖を、ユーモアを綴ってこられた阿刀田さんならではの視点と構成で、短編小説を味わいます。それぞれの作家や作品について、阿刀田さんの解説を伺いながら、文字通りアゴラらしく、皆さんの意見・感想を述べ合い、短編小説をじっくり読み、楽しみましょう。

開 催 概 要

日 程	2014年11/15、11/29、12/20、2015年1/10、1/24、2/7、2/21(すべて土曜日)
回 数	7回
時 間	14:00～17:00(3時間)
定 員	25名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円(消費税8%込)
お勧めしたい方	・短編小説をより楽しみたい方 ・知的創造の探索を楽しみたい方

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

阿刀田 高(あとうだ たかし)

昭和10年(1935年)東京生まれ。早稲田大学文学部仏文科卒業後、一時国立国会図書館に勤務。その後軽妙なコラムニストとして活躍した後、短編小説を書き始め、昭和54年『来訪者』で日本推理作家協会賞、短編集『ナポレオン狂』で直木賞を、平成7年『新トロイア物語』で吉川栄治文学賞をそれぞれ受賞。著書には『知っていますか』シリーズ、小説『闇彦』、『知的創造の作法』など多数。2003年紫綬褒章、2009年旭日中綬章受章。日本ペンクラブ第15代会長、1995年から2013年まで直木賞選考委員を勤めた。山梨県立図書館長。

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

参加者

講座名	<input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む	
会社・団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所(資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはなりません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度(個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(『夕学五十講』を除く。)
◆20%割引:108,000円(税込)以上の、『agora』および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(『夕学五十講』を除く。)過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。
【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

『agora』およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(『夕学五十講』を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。ご不要の方は右記にチェックをお願いします。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報のご提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<http://www.keiomcc.com/keiomcc/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。